

(令和 2 年度) 【総合的な学習の時間】 6 学年

内容の目標			
探求課題	探求課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
北海道の歴史や文化, 世界とのつながり	・北海道の歴史について理解する。 ・調査活動を, 目的や対象に応じた適切さで実施することができる。 ・地域の伝統行事のよさへの理解や, わたしたちの住む町のよりよい未来への考え方など自己の変容は, 地域の人, もの, ことと関わりながら探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。 ・I C T機器の正しい使い方を理解する。 ・I C T機器を利用して課題解決にむけて資料や情報を探すことができる。	・地域の伝統や文化への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり, 解決の見通しをもつことができる。 ・課題の解決に必要な情報を, 手段を選択して多様に収集し, 種類に合わせて蓄積することができる。 ・課題解決に向けて, 観点に合わせて情報を整理し考えることができる。 ・相手や目的に応じて, 分かりやすく表現することができる。 ・インターネットで調べた情報が正しいものかどうかや, 必要な情報かを判断し, 選択することができる。 ・プレゼンテーションソフトなどを利用して調べたことを効果的にまとめることができる。	・課題解決に向け, 自分のよさに気付き, 探究活動に進んで取り組もうとする。 ・自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとする。 ・地域との関わりの中で自分でできることを見付けようとする。 ・課題解決に向け, I C T機器で調べることの利便性や良さに気付き, 進んで取り組もうとする。

(令和2年度) 【総合的な学習の時間】 6 学年

内容のまとまりごとの評価規準			
探求課題	探求課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
北海道の歴史や文化、世界とのつながり 歴史探検プロジェクト	・北海道の歴史や世界とのつながりについて理解している（①北海道の大昔②アイヌの人々の暮らし③北海道の開拓期④北海道の戦争⑤北方領土問題）。 ・調査活動を、目的や対象に応じた適切さで実施している。 ・わが町への理解の深まりやよりよい未来を築いていくための考え方の変容は、地域の人、もの、ことと関わりながら探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。 ・ＩＣＴ機器の正しい使い方を理解している。 ・ＩＣＴ機器を利用して資料や必要な情報を探している。	・地域の伝統や文化への関わり（原始生活体験や、アイヌの人々の暮らしとの出会い）を通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。 ・収集した多様な情報を分類・整理し、北海道の歴史やよさを伝える相手、内容、方法について考えている。 ・相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。 ・インターネットで調べた情報が正しいものかどうかや、必要な情報かを判断し、選択している。 ・プレゼンテーションソフトなどを利用して調べたことを効果的にまとめている。	・北海道の歴史に関心をもち、自分の生活を見直したり、他者の考えを認めたりしながら、自らの意思で課題を解決しようとしている。 ・北海道のよりよい未来とこれからの自分の生き方を考えるために、これまでの学びや戦争体験を聞いて知ったこと、自分と違う意見や考えのよさを生かしながら、協働して学び合おうとしている。 ・自分も地域の一員であることを自覚し、地域のためにできることを考えて積極的に関わろうとしている。 ・ＩＣＴ機器を利用して、自分の課題に必要な情報や資料を探そうとしている。 ・課題解決に向け、ＩＣＴ機器で調べることの利便性や良さに気付き、進んで取り組もうとしている。

(令和 2 年度) 【総合的な学習の時間】 6 学年

内容の目標			
探求課題	探求課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
自己の姿と自己の将来	・自分の生活は多くの人に支えられて成り立っていることを理解する。 ・6年間の学校生活を支えてくれた人に感謝し、これからの生き方について考えることができる。 ・社会への関心の高まりや、わたしたちの生活に対する考え方など自己の変容は、地域の人、学校に関わる人、先生、学年学級の友達、在校生と関わりながら探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。 ・I C T機器の正しい使い方を理解する。 ・I C T機器を利用して課題解決にむけて資料や情報を探すことができる。	・小学校生活の振り返りを通して感じたことをもとに課題をつくり、解決の見通しをもつことができる。 ・課題の解決に適した方法, 手段を選択し、目的に合わせて取り組むことができる。 ・相手や目的に応じて、分かりやすく表現することができる。 ・プレゼンテーションソフトなどを利用して調べたことを効果的にまとめることができる。	・課題解決に向け、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとする。 ・自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとする。 ・学校の明るい未来のために、自分でできることを見付けようとする。 ・課題解決に向け、I C T機器で使うことの利便性や良さに気付き、進んで取り組もうとする。

(令和 2 年度) 【総合的な学習の時間】 6 学年

内容のまとまりごとの評価規準

探求課題	探求課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
自己の姿と自己の将来 自分探しプロジェクト	・小学校生活を振り返ることを通して、自分の考え方やこれからの生き方について文章やアルバムにまとめたり、卒業制作を行ったりしている。 ・6年間の学校生活を支えてくれた人に感謝を表す方法を見つけ、目的に沿って活動している。 ・社会への関心の高まりや、わたしたちの生活に対する考え方など自己の変容は、地域の人、学校に関わる人、先生、学年学級の友達、在校生と関わりながら探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。 ・I C T機器の正しい使い方を理解している。 ・I C T機器を利用して課題解決にむけて資料や情報を探している。	・小学校生活の振り返りを通して感じたことをもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。 ・小学校生活の思い出やこれからの生き方についての考えを分類・整理し、伝える相手、内容、方法について考えている。 ・相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。 ・自分自身、学級・学年、小学校生活全体について振り返り、自分達を支えるすべてに感謝を表すための方法を考えたり、これからの自分の課題を見出したりしている。 ・プレゼンテーションソフトなどを利用して調べたことを効果的にまとめている。	・課題解決に向け、自分のよさに気づき、探究活動に進んで取り組もうとしている。 ・自分や友達の成長に関心をもち、生活を見直したり、他者の考えを認めたりしながら、新たなスタートに向け、自らの意思で課題を解決しようとしている。 ・自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。 ・学校の明るい未来のために、自分でできることを見付けようとしている。 ・課題解決に向け、I C T機器で使うことの利便性や良さに気づき、進んで取り組もうとしている。